

## 第 12 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 4 年 8 月 25 日（木）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県佐久合同庁舎 講堂

### <次 第>

#### 1 開 会

#### 2 挨 拶

#### 3 会議事項

(1) 第 11 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 再編・整備計画【三次】(案)について

(3) 新校の学びのイメージについて

(4) 佐久新校の校地選定について

(5) 来年度のスケジュールについて

#### 4 その他

第 13 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】未定（10 月から 11 月） 18 時～19 時 30 分

【会場】未定

#### 5 閉 会

# 第11回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和4年(2022年)7月25日(月) 18時00分~19時30分
場所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出席(敬称略)	花里英一, 吉岡道明, 相馬栄治郎, 渡辺 仁, 白鳥敬日瑚, 廣末恵子, 高橋 功, 吉岡 徹, 中島瑞枝, 木内良夫, 神津かずみ, 竹内由紀, 鹿取俊彦, 森泉雄二, 柳沢敬, 山下純一, 井出豊彦, 木下照美, 中島俊太郎, 横川響菜 (以上20名)
傍聴者	12名(報道1社1人)
事務局	野沢北高校: 石川 教頭(事務局長), 白石教諭, 清水教諭 野沢南高校: 橋爪 教頭(副事務局長), 児平 教諭 県教育委員会: 宮澤室長, 堀田企画幹, 山岸主幹指導主事, 石井主事, 柳沢主任指導主事
当日資料	○次第, 第10回懇話会まとめ, 校地検討の主な視点 佐久新校の校地現況

## 会議事項

- (1) 第10回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 新校の学びのイメージについて
- (3) 佐久新校の校地選定について

## 主な内容(要旨) ⇒県教委

### <佐久新校の学びのイメージについて>

プロジェクトチームから、懇話会での議論を踏まえた「佐久新校イメージ(案)」について説明し、メモ形式で意見・要望を収集。

### <佐久新校の校地について>

#### ○校地検討部会報告

県教委からの提案を受け、県有地の活用を断念し、野沢北と野沢南のどちらかの校地を活用するという事で意見交換を進める。

⇒前回の説明のとおり、「県有地を校地として活用することは現実的に困難である」ため断念する。佐久新校は、多くの生徒が一堂に会し、規模の大きさを生かして切磋琢磨しながら活力ある学校生活を送ることが重要である。駅前ビルの活用や両校校地を活用した分散型キャンパスについてのご意見もいただいたが、「野沢北か野沢南のいずれかの校地を活用する」ということでの意見交換を改めてお願いしたい。

◎反対なし

○校地検討の主な視点と先行事例の校地検討経緯を説明。以下の4点についてグループワークで意見交換。「グループワークで出た意見(抜粋)」

#### 1 校舎・校地に係る環境

- ・ 現有地の面積を拡張できるかどうか大きな視点になるのではないかと
- ・ 定時制棟や駐車場の確保を考えると、広い敷地が必要

#### 2 通学環境

- ・ 保護者による送迎が多いため、送迎のしやすさや安全などの周辺道路の環境も重要
- ・ 最寄り駅(中込・佐久平)からのスクールバスが必要

#### 3 教育環境

- ・ 広い図書館を中心にした校舎でカフェなどの施設もあると良い
- ・ 通学に時間がかかっても選ばれる魅力ある学校を作るべき
- ・ 地域の大学と交流して探究的学びを深める
- ・ 地域連携室などを設置し、生徒の探究活動に活かせる場所を考えて欲しい

#### 4 街づくりとの関連

- ・ 跡地利用を含め、自治体と協力しながら街づくりを含めて考える必要がある
- ・ 新しくなる野沢会館に図書館の分室などを作り生徒が活用出来ると良い

## 次回の予定

日時: 令和4年8月25日(木)18時~19時30分

場所: 長野県佐久合同庁舎 講堂

会議内容: 佐久新校の学びのイメージについて、佐久新校の校地選定について

## 再編・整備計画【三次】（案）

旧第12通学区  
(大北地域)

旧第3通学区  
(長野市北部地域)

旧第11通学区  
(塩尻・松本・安曇野地域)

旧第4通学区  
(長野市南部・千曲・坂城地域)

旧第7通学区  
(諏訪地域)



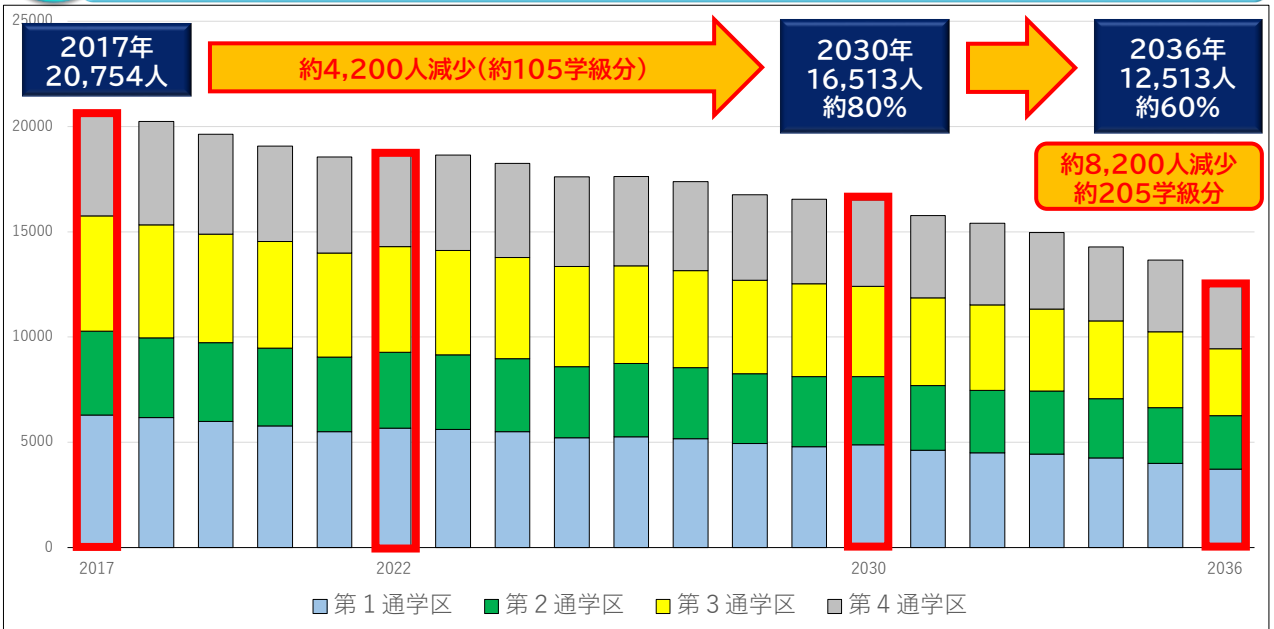
デザイン制作＝高校生  
×  
同窓会トータルデザインアカデミー

定時制・通信制  
(全県)

1

1

## 通学区別中学校卒業生数の推移と予測(多部制午前部・午後部を除く)



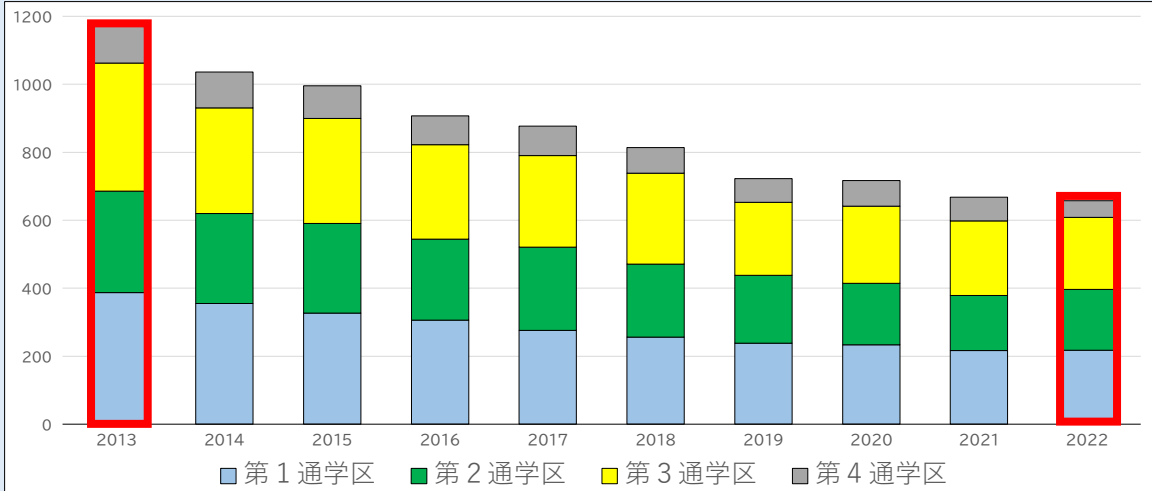
2

## 定時制課程の在籍生徒数の推移(多部制午前部・午後部を除く)

2013年  
1,177人

519人減少(55.9%)

2022年  
658人



3

## 「実施方針(2018年)」で示した定時制高校の将来像

○専門学科の施設・設備を有効に活用し、体験的なキャリア教育を充実させながら、普通科へ転換する。

○通学時間帯が夜間に及ぶことを考慮し、生活・通学圏域である旧12通学区を基本に配置を検討する。

4

## 「実施方針(2018年)」で示した再編の方向(第2通学区の定時制・通信制)

### 第2通学区 (東信地区)

- **東御清翔高校への夜間部設置**の必要性、**既存2校**の定時制との**関係等**検討

5

## 協議会からの意見とこれから実施する計画

### 上田地域の高校の将来像を考える協議会

- 社会情勢の変化や地域からの要望等を酌み、中長期的な視点で検討

### 佐久地域の高校の将来像を考える地域の協議会

- キャリア教育や探究的な学びに積極的に取り組み、多様な生徒に対応する学びを推進

### これから実施する計画

- 上田千曲高校定時制工業科を**普通科に転換**
- 東御清翔高校に**夜間部を設置**し、上田高校定時制を**東御清翔高校に集約**
- 野沢南高校定時制は、**佐久新校(野沢南・野沢北)定時制に移管**
- 小諸商業定時制は、**小諸新校(小諸商業・小諸)に移管** → **佐久新校定時制に集約**

6

## 佐久新校のイメージ(案)

### 新しい時代を地域と共に創る佐久の学びの拠点校

#### 探究心を未来の好奇心へ

学校像

- 高い志の進路を実現し、未来社会の核として  
地域・日本・世界で活躍する人を育む
- 知的創造力・知的活用力を磨き、自己の可能性を追求する
- 深い学びで真理を追究し、コミュニケーション能力や  
表現力・発信力・創造力を育む

生徒像

- 主体性を持ち、失敗を恐れず、チャレンジ精神旺盛な生徒を育む
- 新しい時代を切り拓いていく気概を持つ生徒を育む
- 自分の考えを持ち、表現し、発信できる生徒を育む
- 多様性を尊重し、他者と協働し、新たな社会を共創する生徒を育む



#### 学び・カリキュラム

探究的手法を学びの核とした、主体的、対話的な教育活動  
高い志を実現する確かな学力をつけ、主体的な科目選択で自分の学びをデザイン  
「もっと知りたい・学びたい」気持ちを大切に、学びを発展させるカリキュラム  
学校の枠にとらわれず学外と協働した先駆的な学び

#### ○普通科

よりよき社会を共に創ろうとする資質・能力を育成する  
幅広い選択科目群から自らの興味・関心に応じて主体的な選択をし、4年制大学をめざす

#### ○理数人文科学科(仮称)(1年次共通履修)

理数的なものの見方を含めて将来の課題解決に必要な資質・能力を育成する  
理数科を発展させた学科で、2年次からコース制を導入し、難関大学進学をめざす

#### ・理数科学コース(仮称)

自然科学を深く学び、地域的課題、地球規模の課題を考え、主に理科系進路に対応する

#### ・人文科学コース(仮称)

国際理解と地域課題解決をキーワードに、様々な社会現象・国際情勢などを考え、  
主に文科系進路に対応する

共同研究  
アイデア発信



先駆的学びの機会  
地域課題共有

### 佐久地域と融合連携・地域と共に

「卓越した探究的な学びを推進する高校（スーパー探究校）」でのコンソーシアム  
(連携協働する母体・組織)を引き継ぎ、地域医療や健康医療産業等の最先端に触  
れる実習体験型学習や大学・研究機関・佐久市と連携した授業・活動の開発

佐久新校（仮称）

教育課程の例：各学科のイメージを見るためのモデル



：必修



：選択

各学科とも1年次に必修科目をできるだけ置き、それぞれの学科とも共通に履修させる。これによりくり募集も可能。

理数人文科学科(仮称)は1年次共通履修、2年次からそれぞれのコースを選択させ分かれる。理数科発展形

このほかにも前期後期の2期に分けて履修させるなどの方法も考えられる。教育課程・履修方法・選択方法などは今後も継続して研究する。

普通科（仮称）

2年次からの幅広い選択群を活かす。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年次	国語		公民		数学				理科				保健体育		芸術選択		英語				家庭		情報		探究	LHR						
	現代の国語	言語文化	公共		数学Ⅰ				数A	数学Ⅱ	物理基礎		生物基礎		体育	保健	英語コミュニケーションⅠ		論理表現Ⅰ		家庭基礎		情報Ⅰ		探究	LHR						
2年次	国語		地理歴史				数学				保健体育		英語				選択群①9単位						探究	LHR								
	論理国語	文学国語	地理総合		歴史総合		数学Ⅱ		数B	数C	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理表現Ⅱ		科目群から3～4科目						探究	LHR								
3年次	国語		保健体育		英語				選択群②18単位										探究	LHR												
	論理国語	文学国語	体育		英語コミュニケーションⅢ		論理表現Ⅲ		科目群から5～9科目										探究	LHR												

**選択群①（自由に選択）**  
 古典探究・数学探究・化学基礎・地学基礎・芸術・  
 物理・生物・化学・日本史・世界史・地理

**選択群②（自由に選択）**  
 古典特論・数学Ⅲ・数B・数C・数学特論・英語特論・化学・生物・物理・地学  
 体育探究・芸術・日本史・世界史・地理・倫理・政治経済・保育・食物

選択群①②ともに  
 科目の縛りなしに  
 自由に選択できる

理数人文科学科(仮称)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年次（共通履修）	国語		公民		数学				理科				保健体育		芸術選択		英語				家庭		情報		理数	LHR						
	現代の国語	言語文化	公共		理数数学Ⅰ				理数数学特論		理数化学				体育	保健	英語コミュニケーションⅠ		論理表現Ⅰ		家庭基礎		情報Ⅰ		探究	LHR						

人文科学コース（仮称）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年次	国語		地理歴史				数学				理科				保健体育		英語				選択群③		探究	LHR								
	論理国語	文学国語	地理総合		歴史総合		理数数学Ⅱ		理数数学特論		生物基礎		地学基礎		体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理表現Ⅱ		科目群から2科目		探究	LHR								
3年次	国語		数学				保健体育		英語				選択群④12単位						探究	LHR												
	論理国語	文学国語	数学特論		体育		英語コミュニケーションⅢ		論理表現Ⅲ		芸術総合		科目群から3～6科目						探究	LHR												

**選択群③**  
 日本史・世界史  
 地理・国際理解

**選択群④（自由に選択）**  
 古典特論・数学演習・理科総合・英語講読  
 日本史・世界史・地理・政治経済・倫理

理数科学コース（仮称）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年次	国語		地理歴史				数学				理科				保健体育		英語				選択群⑤		理数	LHR								
	論理国語	文学国語	地理総合		歴史総合		理数数学Ⅱ				理数物理		理数生物		体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理表現Ⅱ		1科目		探究	LHR								
3年次	国語		数学				理科		保健体育		英語				選択群⑥10単位						理数	LHR										
	論理国語	文学国語	理数数学特論				理数化学特論		体育		英語コミュニケーションⅢ		論理表現Ⅲ		科目群から3～5科目						探究	LHR										

**選択群⑤2単位**  
 地理・日本史・世界史  
 数学探究・英語探究・理科探究

**選択群⑥（自由に選択）10単位**  
 理数物理特論・理数生物特論・理数数学研究  
 古典探究・日本史・世界史・地理・倫理・政経

(第 11 回懇話会で「学びのイメージ」について、  
メモ形式でいただいた意見・要望など)

- 日本文化を大切に考えられるような学びに。
- 国際社会で活躍できるように英語力にも力を入れたカリキュラムを。
- モデルとなるような学校を提示して欲しい。育てたい人物像を明確にした方が良い。
- 月 1 回程度いろいろな分野の一流の人を招き、講演会を開く。本物を知って刺激を得る。
- 気づく力を高める。自己信頼性を高めることが重要。
- 成功失敗を繰り返す中で自己肯定感を高める。卒業生の力を借りて探究的学びを。
- 生徒会活動や班活動を活用した協調性や指導力の涵養。広い視野
- 募集クラス数はどうなる？
- 文系にとっての理数科目、理系にとっての文系科目は大切。リベラルアーツ的な視点を。
- 早期から文理に分けることなく、総合的に学ばせることが大切。

寄せていただいたご意見を今後 PT で検討していきたいと思えます。また、先進的な高校について情報を集め、視察も含めてイメージのブラッシュアップをしていきたいと考えています。

昨年度末に、イメージを作るために別紙のような教育課程の例を作りました。

1 コマを標準の 50 分として 1 日 6 コマの授業を月曜日から金曜日まで行くと 30 コマの授業時間、そこに、探究・課題研究の授業と LHR をつけてあります。

時間割のイメージで言うと

右のように、30 コマの授業と  
探究・課題研究の授業コマと  
LHR がこの表の外に張り出している  
形になります。

	月	火	水	木	金
①	1	7	13	19	25
②	2	8	14	20	26
③	3	9	15	21	27
④	4	10	16	22	28
⑤	5	11	17	23	29
⑥	6	12	18	24	30

探究

LHR

生徒会活動やクラブ活動、自主的な活動をするための時間を保障するにはすべてを 30 コマの中に納める工夫と科目選択のさせ方や選択科目の置き方や履修方法など研究していかなければならないと考えています。

また、自主的な活動のきっかけとなる、また、生徒のモチベーションを高めるような講演会などは必要なことだと考えますが、具体的に行事にどのように組み込んでいくのかは今後の課題です。



## 「主な視点」に基づくご意見のまとめ

### 1 校舎・校地に係る環境

構成員からのご意見	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習空間デザインに基づく新たな施設・設備を整備するための十分な敷地の広さがあることが望ましい</li> <li>・定時制棟が必要</li> <li>・保護者や地域の方が利用できる駐車場が校地内にあることが望ましい</li> <li>・広い体育館とトレーニングルームが必要</li> </ul>	敷地（校地）の広さ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな学びを実現する施設を考えると、校地拡張の可能性も検討した方がよい</li> </ul>	校地拡張の可能性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等による騒音や日照権等で苦情がない場所</li> <li>・防音設備がある施設があることが望ましい</li> </ul>	近隣住民への影響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方が利用できる駐車場が校地内にあることが望ましい</li> </ul>	駐車場施設の確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型バスや訪問者が出入りしやすい場所が望ましい</li> <li>・探究活動などの新たな学びにより、校外へ出ることが多くなるため、車で出入りしやすい校地が望ましい</li> </ul>	周辺の道路環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難場所になれるなど、ハザードマップ上も安全な立地であること</li> </ul>	校地の安全性

### 2 通学に係る環境

構成員からのご意見	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道や自転車道が整備されているなど、通学路における安全対策が講じられている</li> <li>・交通量や街灯施設も考慮すべき</li> </ul>	通学時の安全性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠方からも通学しやすい駅に近い場所</li> <li>・広域から生徒を集めることを考えると交通アクセスがよい場所</li> <li>・小海線の状況を考えると、中込駅だけでなく、佐久平駅も最寄り駅と捉える必要がある</li> </ul>	駅（中込・佐久平）からの距離
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域から生徒を集めることを考えると交通アクセスがよい場所</li> <li>・送迎する保護者のことを考えると、周辺道路の道幅も重要</li> <li>・送迎しやすい道路環境</li> </ul>	自動車でのアクセス

### 3 学習活動を支える教育環境

構成員からのご意見	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種教育機関（幼・保・小・中・高・大・児童館）と連携した学びができる立地</li> </ul>	他の学校との交流の利便性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業と連携した学びができる立地</li> <li>・地域連携協働室を活用した地域との連携</li> </ul>	地域との交流の利便性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場や武道館などの施設も活用できる環境</li> <li>・近隣施設（野沢会館、中央図書館等）を活用した校外活動ができる学校</li> </ul>	近隣施設（公共施設等）の有用性

### 4 自治体の街づくりとの関連

構成員からのご意見	検討項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久市と連携してスクールバスを走らせる</li> <li>・跡地をどうするか</li> <li>・改修される野沢会館に図書館の分室がほしい</li> </ul>	

## 佐久新校の校地選定に係る検討項目（案）

高校再編推進室

佐久新校の校地を選定するにあたり、下記の項目について、県教委が野沢北高校、野沢南高校の校地を検討し、決定するものとする。

### 1 校地・校舎に係る環境

検討項目	検討にあたっての考え方
敷地（校地）の広さ	○充実した施設を整備するには、敷地面積が広い校地が必要だと考える。
校地拡張の可能性	○新たな学びを実現する施設を検討した際に、校地拡張の可能性も考慮する必要があると考える。
近隣住民への影響	○学校での活動による騒音、校舎改築による日照権など、近隣住民への影響が少ない校地がよいと考える。
駐車場施設の確保	○学校行事等で大勢の方が来校する際、駐車場の確保ができる校地が必要だと考える。
周辺の道路環境	○新校での学びを考えると、大型バスや訪問者が訪れやすい周辺道路の環境も考慮したほうがよいと考える。

### 2 通学環境

検討項目	検討にあたっての考え方
通学時の安全性	○歩道や自転車道など、通学の安全性が確保されている校地の方がよいと考える。
駅（中込・佐久平）からの距離	○広域から生徒を集めることを想定し、駅から近い場所に校地がある方がよいと考える。
自動車でのアクセス	○保護者の送迎によって通学する生徒が多いことから、自動車でのアクセスの良さも考慮する必要があると考える。 ○広域からの通学を考慮し、交通網の変化にも対応できる校地がよいと考える。

### 3 学習活動を支える教育環境

検討項目	検討にあたっての考え方
他の学校との交流の利便性	○他の学校との連携や交流がしやすい校地が必要だと考える。
地域との交流の利便性	○地域の施設や企業との連携、交流を想定し、生徒が移動しやすい校地が必要だと考える。
近隣施設（公共施設等）の有用性	○学校外の施設での活動を想定し、近隣の施設が使いやすい校地が必要だと考える。

長野県教育委員会

新校準備委員会

第1期高校再編時の校名選考の情報提供

選考の観点、選考方法の検討・原案作成

⑪懇話会(R4.5.16)

選考の観点、選考方法について意見交換

小諸新校「校名」募集要項(案)の作成

選考の観点、選考方法の再検討

⑫懇話会(R4.8.18)

小諸新校校名募集要項(案)について意見交換

小諸新校「校名」募集要項の決定

9月上旬~10月上旬

小諸新校「校名」募集の公募開始

応募された校名案の整理

【一次】投票

⑬懇話会(11月~12月)

公募結果の説明、校名案候補の一次選考

同名校、権利侵害等の調査

校名案候補 一次選考の整理

【二次】投票

⑭懇話会(1月~2月)

校名案候補の決定(最終選考)

同名校、権利侵害等の調査

再編対象校の校長から具申

R5年4月or5月

教育委員会定例会で校名案の決定

R7年11月

県議会11月定例会で正式決定